

## 編集後記

令和元年度の『研究紀要』が完成いたしました。原稿をお寄せくださった方々に感謝申し上げます。

本校は「『問題解決能力』の育成に主眼を置いた『中央型探究授業』のモデル作り～習得した知識や技能を活用して自らの問いを立て探究する生徒の育成～」をテーマとして、10月の研究授業月間、12月の校内授業研修会等の実施によって、授業改善や教師としての力量向上に努めてまいりました。特に12月の校内授業研修会では、多くの先生方の授業実践をもとに教科の枠にとらわれない活発な協議会を通してスキルや情報を共有することができました。授業研修の他にも、「大学入試改革」を意識して進路指導部とともに「大学共通テスト（新テスト）」に向けた職員研修を実施し、新テストを見据えた考査問題の検討と作成、授業改善を進めて参りました。また、通算7年目を迎えたSSH事業は本校の教育活動の中核であり、10月と12月に実施された協働授業は高大連携を進める上で重要な役割を担っております。これらの特色ある取り組みを本校の更なる躍進につなげていきたいものです。

多忙な職場ではありますが、日々の研鑽を重ね、教師としての力量を高め、活気ある教育活動に励んでいく所存です。本紀要が皆様の教育活動の一助になれば幸いです。

研究紀要 第34号

令和2年3月 発行

発行者 秋田県立秋田中央高等学校 研究部